

事業所における自己評価集計結果（公表） — 放課後等デイサービス — （令和3年度）

公表：令和4年3月30日

事業所名 社会福祉法人 高邦福社会 柳川療育センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			利用者の状況に合わせて、ベッドや休憩スペースなどを確保している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	4				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			車いすでの移動が多いので、バリアフリー化されている。歩行される方が安全に歩行できるように物品の位置など工夫している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			カンファレンスを行い対応している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				アンケートは実施したが、業務改善する意見までは出ていない。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4				研修の機会を確保して参加できるようにする。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			メバの活用。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			月案を立てている	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			土曜日のみの利用であるため、特にそれに応じた設定はしていない。状況に合わせて配慮している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			曜日ごとの集団的な取り組みと、利用者に合わせての取り組みを行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			団体遊びなどは、人数にあわせて内容を変更している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	4			毎週土曜日に次週の活動内容の確認をしている。問題があった場合は改善策を検討している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			記録は電子カルテを活用している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			定期的にモニタリングを実施している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			基本的な活動は行っている。	ガイドラインを読み合わせ徹底していく。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			担当者が参加するようにしている。今年は、コロナ禍で会議がなかった。	コロナ禍だったため、保護者の了解を得て、個別支援計画や個別マニュアルの交換を行った。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			保護者との連絡を通し行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子ども主治医等と連絡体制を整えているか	4			保護者を通し行っている。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	事業所が同じため必要がない	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			学校の実習に協力している。担当者会議に出席している。今年は、卒業生がいなかった。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			研修参加を検討していく。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4		交流の機会がないので検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			代表者が参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			送迎時に話す機会を得て、説明している。	
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			4		現在対象者はいないが、必要時検討、相談していく。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			面談の機会や保護者の送迎の間に時間を設けたりしている。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			年に1度保護者懇談会を行っている。今年は、コロナ禍で行っていない。	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情に対しては早期に解決できるように担当が保護者と話し、カンファレンスで対応策を協議している。	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			3カ月ごとにセンターだよりを発行している。	
	㉟	個人情報に十分注意しているか	4			取扱い基準に沿って対応している。	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			連絡帳のやり取りを行っている。保護者の方が送迎されるので、話を聞く機会を設けている。	
非常時等の対応	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			例年行っているが今年は、コロナ禍で実施できていない。	
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2		2	マニュアルはあるが保護者への周知は不十分。	今後、保護者への周知をしていく。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			コロナ禍で施設内の訓練はなかった。ビデオ研修を受け、避難経路と持ち出し物品の確認を行った。	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			施設内で研修会が開催され全員参加している。	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束については、同意書をとっている。	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			現在は対象の方はいない。	
	㊸	ヒアリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒアリハットの事例については書類を提出し、カンファレンスで報告している。	